

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

若竹保育園

以前、保育園を設立する時には、保育の心の大切さを伝える「保育の鍵」という鍵を代々受け継いで設立していました。その鍵を、およそ30年前、当園が受け継いだ時、「鍵の重さ、鍵の大きさ、鍵の楽しさ」を開園の挨拶の中で話した事を思い出しています。

第三者再評価に参加するにあたり、まず、第一に、職員全体で初回の評価結果に対してどのような研修を行うことで最良の保育内容になるのか、意見を出し合ってみました。研修を重ねていく中で、これまでに無い職員相互の結びつきや、研修方法が得られました。

又、第三者の視点から当園の保育について、御指導戴いた事に感謝致します。

- * 保育の原点である週間指導計画について、園内研修を重ね、その上で保育内容は、心情、意欲、態度を5領域から捉えた内容に改善していきました。
- * 保護者との連携においては、個別懇談のみではなく、保育参観日にクラス懇談会を行う事で、保護者同士の連帯感が感じられるように見受けられました。

2回の評価の中で評価委員の方より「職員が、一丸となって熱心に保育に取り組んでいる姿が見受けられ、保育園の本来の姿である養護と教育を大切にしている。」と評価された事を励みとして、職員も「参加して良かった。」と言う気持ちを大切に、これからも保育園は、子ども、保護者、地域の良き“伴走者”であり、いきいきとした、若竹保育園でありたいと思います。